

現代文B	報告課題第一回	年	組	氏名
	解説			

【私という自分】

まずは全文を読んでみましょう。この単元は、全部で四段落となっており、筆者が目線となつて語られる文章はどこか引き込まれますよね。注意すべきは第二段落です。出来事とその出来事から筆者が考えた内容が盛り込まれています。意味段落を考える際には、この二つを一緒に考えて読み進めていきましょう。

- ① 初め～一五ページ一〇行
- ② 一六ページ一行～一八ページ八行
- ③ 一八ページ九行～一九ページ六行
- ④ 一九ページ七行～終わり

第一段落―自分らしく生きるとは―

「自分らしく生きる」というのは、どういうことなのだろう。わたしは自分自身が「自分らしく」生きているかどうか、分らない。ただ、「自分」という人間が存在する以上、誰かにとって意味のある存在でいたいというふうに考えている。

第二段落―「だれかにとって意味のある存在」の解釈

・異国のバス停での出来事…バスに乗るためには、前もってバスクーポンを購入しておかなければならないことを知らなかった私は、バスに乗れず困っていた。そんな私のために親切な現地の中年女性が「もう一人分」のクーポンを払ってくれたおかげで、バスに乗ることができた。

・「意味のある存在」…彼女のおかげで「ありがとう」と「ごめんなさい」ぐらいの土地の言葉は覚えていくべきだという教訓を得、困っている外国の方を見かけたら助けてあげたいなど考えもする。その時点で、あのおばさんは、私にとってすでに十分すぎるほど「意味のある存在」なのである。

第三段落―自分と他者

世界は、「自分」と「自分以外の他者」で成り立っている。他者がいなければ、自己も存在し得ない。つまり、「私」という「自分」は、他者によって生かされているのである。

第四段落―私自身がやりたいこと―

「私」という「自分」を確立するため、「誰かのためにやりたい、誰かの役にたきたい」と思う。同じように、自分の存在を無で終わらせないようにするため、「他者を思い他者を愛し、自分の思いをできるだけたくさん他者に伝える」。つまり、私にとって「やらなければならないこと」は、「自分が『やらなければならない』と思うこと」と結局は同じであり、ひいては、私自身が「やりたいこと」なのだと思う。

以上が段落ごとの要約と内容のポイントになります。これを基に報告課題に取り組んでいきましょう。